

「世界日本学による安寧空間創製システム」と「包括的安全保障」の関連研究

Related research on Wellbeing Space Creation System by world Japanese studies and Comprehensive security

沢 恒雄[†]
Tsuneo Sawa

1. 先行研究;世界日本学からWBSCSまで

世界日本学、安寧空間創製システム、安寧空間創製システム(WBSCS)の知財構築などの研究をしてきた。それらを参考文献【1】から【3】に示す。また、背景となる基盤研究は、理学、工学、MBA 及び専門日本語教育の修士論文としてまとめた第 1 表末に示した内容である。

2. WBSCS と包括的安全保障;WBSCS と JESARA

ディープステート【5】に戦いを挑んでいるトランプとプーチンの決着はまだついていない。しかし、SWIFT 制度から QFS 方式に政策の変更は略完了している。マネーロンダリングが不可能となりディープステートの消滅は近い。現時点では、GESARA/NESARA は実現する確度が高い。その原則を見る限り環境・政治・社会・経済の諸相で安全保障は確立するだろう。稿者の安寧空間創製概念に類似しているが、多様な民族と文化を統括する仕組みが築けるか否かは疑問が残る。まだ JESARA の細部が明確ではないので関連を考察できないが以下に現時点での関連について考察した。

3. 令和モデルで統括; 包括的 WBSCS として

安寧空間創製システムは、モデルベース・システムである。安寧空間創製システム概念で「令和モデル」を構築する研究を【4】に示した。人類の滅亡に瀕している現在、世界滅亡の先延ばし役は、日本しかない。GESARA/NESARA が実現しても滅亡の危機は不変である。令和モデルとしてそれを組み込んだシステムとして統括して具体化する。

4. 令和モデル構築での日本としての課題と対応策

第 1 表に詳細をしめしたが主要項目を下記に記す。

I 人類存亡論

- 1 22 世紀人類 100 億人存在の不可能論
- 2 グローバリゼーションと環境破壊の現状
- 3 環境・社会・経済トリレンマの解釈
- 4 国連の無価値化、新規な総合安全保障機関設置、「主義」から「実利」

II 課題緩解論

- 21 強欲金融工学から新価値・新評価を設定した制度
- 22 科学と技術の上位に哲学の設定と復権
- 23 倫理・道徳実践を義務教育で実践
- 24 人類叡智の共有化 (知財バンク)

III 知財システム論

- 31 GMAIS+PIACS=GMAIS、思考・合意形成支援;①問題解決支援システム
- 32 地球環境管理;②生物・人類の温存

- 33 専門日本語教育;③言語・文化温存
- 34 人類の歴史・文化・文明の可視化で個・集・國の相互信頼 (容認) による共存世界;④安寧空間創製システム

IV 日本・大和の國體と主権の復権

- 41 大東亜共栄圏の意義は共存共栄は、八紘一宇の精神
- 42 満州帝国は理想郷
- 43 日本の併合した諸国経営の清算と保障
- 44 事実による是正・補正で日本が自ら日米戦争の裁きを実践し、日本の國體と主権を早急に回復し是正する
- 45 人種差別と植民地主義の絶滅の先鞭
- 46 東京裁判と焚書と地位協定廃止と自衛権の確保。GHQ 憲法廃棄と慣習法で統治可

V 令和モデル

- 51 世界日本学;日本第 1 を
- 52 日本の國體・主権の回復は、デジタル・アーカイブとデジタル・ディプロマシーで令和モデル構築
- 53 世界平和に邁進していた日本の活動は、「米英支露」が破壊
- 54 条約無視や国際ルールを無視は悪
- 55 安寧空間創製システムの構築・運用・管理・評価

VI 知財システム*デジタル外交交渉

- 61 思考支援・集団合意形成支援:特許の記述
- 62 悪の確定と「価値・評価体系」構築 WBSCS の実践で人類防衛群 (國) 新設
- 63 高次な知財バンク、WBSCS の宝庫
- 64 高次先端技術開発の指向と WBSCS の実現と実践

5. 結言;世界と日本の重要な残務活動

トリレンマ緩解に向けての解決策は、国体と主権の回復を前提とする。さらに過度な移民政策の見直しと単純労働力を AI で代替政策する。外交などの政策実践は、知財宝庫を基盤にしたデジタル外交方式にする。加えて「悪と哲学」の研究とその教育とを最優先の課題とする。劣悪環境は、GESARA で解放される特許技術でリペアとケアをする。

参考文献

- 【1】 沢恒雄,「世界日本学」の提案, FIT2015 O-064 (2015).
- 【2】 沢恒雄,世界日本学による安寧空間創製の研究 FIT2016 N-012 (2016).
- 【3】 沢恒雄,安寧空間創製システムの知財構築の研究,人工知能学会,
- 【4】 沢恒雄,「而二不二モデル」を概念とした「令和モデル」構想, FIT2019 N-013 (2019),
- 【5】 馬淵睦夫,ディープステート, WAC, 2021
- 【6】 神社本庁, 日本を語る, 小学館スクウェア, 2019
- 【7】 渡部昇一・岡崎久彦, 賢者は歴史に学ぶ, クレスト社, 1997

[†] 遊工学研究所 YUUKOUGAKU Institute
wbscs@earth.nifty.jp

第 1 表 令和モデル【「世界日本学による安寧空間創製システム」と「包括的安全保障」の関連研究】

領域	番号	概念	項目	説明	参考資料	記事
I 人類存亡論	1	22世紀人類100億人存在の不可能論	人類生存の大法則(糸川英夫)の科学的根拠に基づき学説であり、解決方法についても「創造性組織工学講座」で言及している。人類100億人を養う地球資源は無く、人類は滅亡する科学的な理論を展開している。	人口増加率、 $dH/dt = \text{無限大}$ になること、それを養える地球資源がないという主張が根拠である。消費財を種別化して需要と供給に関連付けした理論構築した。更に、生長経済から適正な需要と供給の体制へ	参考書	糸川英夫、人類生存の大法則、1995、徳間書房 糸川英夫、日本創製論、1990、講談社 糸川英夫、創造性組織工学講座、1993、プレジデント社；準・ロケット・音響・パレー等の多彩な滑動
	2	グローバリゼーションと環境破壊の現状	工業の成長率と株価の増大しかない組織や国の実態は、資本主義と自由主義の爛熟と腐敗の現状にある。生物兵器の拡散で簡単にサプライチェーンが破壊されたり、基幹のインフラに悪影響を与えるサイバー兵器などは、超極悪兵器であり「悪」の双壁であろう。それで何がしたいのか、どうなるのかは、哲学の領分である。	武漢ウイルスは、米仏中の合作の生物兵器であり、サプライチェーンを崩壊した。グローバリズムの完全な終焉である。覇権国家の思い上がりの原因で個人・組織・國のありかたが激変する。DSとトランプ・プーチンの壮絶な抗争は、QFSと金本位制の政策の実施でDSの完敗で米国の体制は大きく変わる。陰謀論ではなく、今後は、共生・共栄・協働の社会システム構築を安寧空間創製創製で実現できる。	参考書 文献多	原洋之介、グローバリズムの終焉、2000、日本農業経済学会大会 GESARA/NESARAで経済安寧社会が到来する。 YOUTUB；石川新一郎や及川幸久 東条英機；大東亜共栄圏の具体的実績として大東亜会議を開催した。
	3	環境・社会・経済トリレンマの解釈	SDGは、環境哲学の悪用である。現実には人類等の温存を目指し環境・社会・経済のトリレンマ緩解策を活きる前提にする。世界で共通の知財バンクで安寧空間創製を通減する。 WBSCS=GMAIS+PIACSで人口増加率と工業化率を適正にしてトリレンマを緩解する。	【生物・人類・文化・言語温存】+【核兵器・銃火器・麻薬・嘘・嘘廃絶】が最重要な目的である。環境破壊に経済を持ち込まない。環境破壊の場合に、環境負荷のアセス・マネジメントに加えケアのセットで自然・生物・人類と言語・文化を温存する。ここで文化は、国体・主権、言語、歴史、芸術、遺産などを含む各国の全てとすべき。	修士論文	環境・社会・経済のトリレンマが大きく歪んだ現況にある。特に、経済が、社会と環境を破壊したのである。絶望的な格差社会と博徒的経済形態に陥ったのである。NO.2の実践で一応の経済安全保障は、保てるだろう。
	4	国連の無価値化 新規な総合安全保障機関設置 主義から実利	ロシアや中国のチベット・ウイグル・ウクライナ等の侵攻、その内部での人権蹂躪やジェノサイドの現実、独裁国家の暴挙であり組織的におおきな課題を包含している。そこで「悪」を定義してその根絶がトリレンマの解決に直結している。	ロシアのウクライナ侵攻や中国の覇権国家化、人類殺傷と新奴隷制度化がコロナ災害の終局後に求められる。不要なCommodityや人の移動を抑制すること。思想・宗教・主義をわきに置き、哲学を主に据え、悪の再定義と其の根絶を目標とす。広島に世界安寧空間統括機関を設置する。絶滅すべき「悪」を根絶する。選挙は、Quantum ComputerとBlockchainの機能を使用して不正のないシステムで運用する。	最新動向 日本が主導	オリンピックの政治一体化で独裁者の道具、ルール無視に対する破廉恥さ！！ 小汚い個人の悪行を止めさせる。 国連を解散して、広島に「世界安寧空間統括機関」を創設する。 初期は、日本が主要国になる。知財宝庫の有効な利活用を前提とする。
II 課題緩解論	21	強欲金融工学から新価値・新評価を設定した制度	ICTと金融工学の悪用が信用貨幣の無制限な発行で意味のない開発と需給により現在の経済活動は崩壊した。新たな価値観と評価法の確定が急務で、悪を根絶する政策がトリレンマ緩解の1方法である。	経済は、経世済民であり、ユダヤの商人の末裔のファンド屋の資産凍結、没収して原資とし、兌換性に戻す。量子コンピュータとブロックチェーンを基盤として既存のコンピュータと総合的なシステムとして、個・組織・國の相互関連活動の根幹として「価値と評価」を再定義する。	安寧空間創製概念	今・自分・金だけの人生観ではなく、國・他者を愛し社会貢献のできる人生観をもつ人間になれる義務教育を施す。皆兵ではなく、皆労のがぜんといとなろう。環境の保全と美化が必須となる。
	22	科学と技術の上位に哲学の設定と復権	「我欲・金・自分」主体の社会は、絶望的な格差を発現する。個・組織・國の経営の基軸に哲学(義・和・誠)を埋め込む社会が必要である。	人類が産業革命とフランス革命の成果として得られた科学技術の知から、トリレンマ緩解に関わる「悪」の応用を廃絶して植民地主義の精算をする。	教育勅語 八紘一宇	國が誇れる存在感と倫理・道徳を保持することを誇りとする生活が基準
	23	倫理・道徳実践を義務教育で実践	世界で共通の知財バンクに子供の躰として倫理・哲学の基礎教育を実践＝教育勅語の精神	【生物・人類・文化・言語温存】+【核兵器・銃火器・麻薬・嘘・嘘廃絶】；「悪」の研究による再定義が大前提となる。環境破壊に経済を持ち込まず、環境破壊の場合に、環境負荷のアセス・マネジメント、ケアのセットで自然・生物・人類と言語・文化を温存する。義務教育で正しい倫理教育を実践する。	修士論文	環境・社会・経済のトリレンマが大きく歪んだ現況にある。特に、経済が、社会と環境を破壊したのである。絶望的な格差社会と博徒的経済形態に陥ったのである。
	24	人類叡智の共有化(知財バンク)	言語、歴史、戦争処理、開示済の極秘機密情報、今後の政策モデルを常に整備して、外交交渉は、知財バンクをベースにデジタル・リモート外交を原則とする。	安寧空間創製システム(WBSCS)、思考支援・集団意思決定・合意形成支援システム(GMAIS・PIACS)の管理・運用・評価・編集機能などの基盤となる知財バンクが最重要である。	論文	諸国の歴史・言語・文化・文明を事実をベースにした文書として、世界アーカイブとする。その相互参照によりデジタル・リモート外交の機能を持たせる。

領域	番号	概念	項目	説明	参考資料	記事
III 知財システム論	31	GMAIS+PIACS =GMAIS 思考・合意形成支援;① 問題解決支援システム	思考支援・意思決定支援・合意形成支援システムとデータ・ケース・モデル・シナリオからなる情報バンク(知財情報宝庫)で安寧空間創製システムの基幹システムである。	【RASISUEEH】信頼度・可用性・サービスリティ・整合性・機密性・使用可用性・拡張性・探索性・幸福性、意思決定と合意形成支援システム⇒あるべき姿は、「僕がいて、そして君と君たちがいる」、その間には、信頼と誠実で成り立つ社会にする。特許:「グローバル・モデル・アーキテクチャGMAモデルによる情報システムGMAIS」、特開平10-198647、1998/7/31公開	工学修士、MBA論文 思考・合意形成支援・著書、特許	共産主義、民主主義と自由経済主義は、国際条約を無視し、寡奪の歴史を重ね、環境面で「成長率・株価・信用貨幣」の暴走等で、人類の消滅するレベルまで環境破壊をした。グローバリズムの展開と戦争開発による軍需産業により近代の労働者を奴隷化している。これらの事実を事実として伝達する機能を喪失したマスコミや博徒的な金融業、官僚と政治も同様な腐敗状態である。
	32	地球環境管理;②生物・人類の温存	人類は、個体数が急増して存亡の危機にある。絶対的に言えることは種を養える規模で無くなることである。大気・海面と海中・地表と地下が生物にとって生存を脅かす状況にある。破壊された環境を復元するプロセスを必須としている。	生物種も人類と同じ環境にあり、人類の環境破壊で食物連鎖も大きく乱れている。破壊した環境を復元する工程を活動サイクルに組み込むべきである。あまりにも経済成長の欲望を増大させた結果である。基本的には科学技術開発と応用の諸相で哲学を亡失した誤りを無視した。ゴミが全環境に存在してしまっ。リベアとケアが急務である。	環境管理修士論文	経済成長などの目的で環境を破壊する行為はISOなどで規定されている。しかし、アクセスとマネジメントとリベア・ケアのサイクルになっていない、喫緊の問題として取り組む項目である。大気圏の使用済み人工衛星、海中や体内蓄積のマイクロ物質など放射能と同様な累積していくの除去と限界の研究を必用とする。
	33	専門日本語教育;③言語・文化温存	専門日本語教育で統合システム化WBSCSの主要な応用(言語と文化の温存)高次のAI応用として携帯の自然言語変換装置が必要である。世界的な知財宝庫として構築・備蓄して世界的な対話を可能とすることが目的である。	日本語は、世界でも有用な汎用化言語たりうる多様な表現と正規的な自然言語である。言葉からその後の外来言語を取り込んで表現(音・書)で進化した軌範的言語である。和歌から言語体系が確立されてきた。1000年も続くベストセラーを保有する少ない言語種である。	日本語教育修士論文	完成度の低い英語が世界共通言語になりつつある。ICT技術とAI技術で自然言語処理機能で変換率の精度の高いシステムで、対話モードでの装置開発を実現する。各国の神話から伝承してきた文化などを自国の宝庫として開放して、各国間の伝達を可能とする。
	34	人類の歴史・文化・文明の可視化で個・集・國の相互信頼(容認)による共存世界;④安寧空間創製システム	WBSCS=世界知財バンクを活用してデジタル・アーカイブでデジタル・ディプロマシーを安寧空間創製システムで実践して安寧・安全・安心・安定した足るを知る新世界を実現する。	言語・文化・人類・生物の温存を目指す。植民地政策の歴史の清算をする。餓死者や核兵器と人種差別・迫害・大量殺戮などの「悪」を廃絶する。	参考書論文	神話・歴史・政治・経済・制度・広範な芸術の成果・学術関連など一元的に管理しうる世界的な知財宝庫として安寧空間創製システムの構築には、GESARAで自由になる政府、司法、行政、医療、銀行、エネルギー産業など多くの人材が汚染処理と知財管理に振り向ける。
IV 日本・大和の國體と主権の復権	41	大東亜共栄圏の意義は共存共栄 人統一の神髄は思想を超えた知恵	日米・大東亜戦争の意義・意味を両国の国民が相互に誤り・悪・事実を理解して容認しあうことから人種差別や近代奴隷を開放しうる基盤ができる。八統一の神髄は思想を超えた知恵である。また、教育勅語の本質こそ人類の至宝とすべきである。	人種差別・奴隷制度と植民地主義の放逐をする。特に現在の絶望的な格差社会で実質的な奴隷状態ある大衆と飢餓・栄養不良の廃絶を最優先で解消すべきである。日本は、国際連盟で人種差別を提したが無碍にされ、連盟を脱退したがその必要性はなかった。理事国のままで居れば時間をかけて交渉可能だった。これに反して米英支とコミンテルンなどの陰謀で、第2次世界大戦に直結したのだ。	著書開発	1帯1路の寝ぼけた覇権構想と大東亜共栄圏構想を比較するとどちらが「悪」かわかる。「覇権独裁」と「共存共栄」の違いである。「嘘と賄賂」と「正直と誠」の文化の退避もできる。大東亜会議は、1943年11月5日に日本、満州、タイビルマ、フィリピン、インド、中華民国参加の大東亜政略共同宣言を採択した。共存共栄の秩序維持自主独立、経済繁栄、文化交流、人種差別撤廃などを採択した。
	42	満州帝国は理想郷	満州帝国の意義・意味;理想国家の先達である石原莞爾や板垣征四郎などの実態を明確にする。もう10年ほど満州帝国が続けば、独立国家として、宗教・文化の異なる理想的な国になったと確信する。	世界にとって、奇跡的な理想国家の建国の序章だった。國が早逝した貴重な事実・歴史であるという解釈も必要である。愛新覚羅家の動向を整理する。日本と支那の皇族と王族は親類であった。	著書開発	米国のハリマンが共同経営の提案があった。米国の覇権国家的であるために日本は、応じなかった。満州帝国は清王朝の復活を時間かけて実現したと確信する。日清の皇室は共栄・共同体であった。その後の國つくりの模範に成れたと確信できる。
	43	日本の併合した諸國經營の清算と保障	第1次世界大戦と第2次世界大戦で植民地的統合をした諸國への収支決算と日米戦争終了以降の援助・支援などを総括する。台湾・朝鮮の併合の評価も含めて歴史の負の遺産を清算する。	いわれなき事実の調査・査定で歴史修正主義的外交をする諸國の事実の理解を得るためである。外交交渉で確定したことを振り出しに戻すことも一方的に決めれば「悪」とみなせる。国際条約の無視を裁定する方略を創る。		日本は、台湾、朝鮮、南洋諸島、樺太などを版図としたが、經營の収支は赤字であるが、進出国には帝国大学を作り、インフラ整備や基礎教育に多くの実績があり、1945年以降もODAの供与やかなりの発展に貢献した。
	44	事実による是正・補正で日本が日米戦争の裁き実践し、日本の國體と主権を早急に回復し是正する	欽定憲法とGHQ憲法を而二不二モデル(事実)とみなして近現代の歴史事実に基づく歴史の確定と確立する。その後新憲法を制定するか慣習法によるかを決定する。	【事実に基づく歴史+魂・心・意に準拠した歴史の認識と教育】 東京上空を自由に飛翔する権利や未だに地位協定が是正・廃止されていない。自国防衛・自衛主体に大規模投資を行い徴兵制を実施すべきだ。英霊の遺骨収集から戦術核の戦略を討議の対象にすべきである。	学会発表論文	過去の悪的な歴史の是正と、植民地主義で虐げられた諸國に賠償を行い、今後の係争の種を除去する。各国は、悪の是正が人類・生物と言語・文化の温存ができる義務教育時期に実践する。プーチンが戦術核を実施すれば、もはや核兵器は抑止の「力」を喪失するだろう。功罪を整理し、清算する。
45	人種差別と植民地主義の絶滅の先鞭	日米・大東亜戦争の意義・意味;肌色改革と植民地主義の解放が深層にあった。	人種差別・奴隷制度と植民地主義の放逐を明確にし、あぶく銭で後発國を買い取るべき独裁國家をなくすべきである。国際連盟での提案を無碍にされ、第2次大戦のきっかけになった歴史を正しく理解すべきであろう。	著書開発	ウイグルやチベットなどの人種侵害が21世紀の博徒的経済戦争で勃発している。絶望的な格差社会の金銭亡者は、「悪」とみなし新奴隷と新植民地主義の製品を不買にすべきである。日本産業分類の100種ほどの領域の日本の知財としてモデルベース化をすべきである。	
46	東京裁判と焚書と地位協定廃止と自衛権の確保する。GHQ憲法廃棄と慣習法で統治可	適正な国際法に基づく東京裁判の違法性と自らの再審判⇒靖國神社へ天皇がいける方略をつくる。権威と権力と財力と知力の保持の分担は、新たな共和社会で作るべきだが、評価機構を全人類の規範とし知財として管理し、維持する。	勝者の裁判、復讐裁判も事実とされた歴史であるが、米国の当時の関連極秘文書の開示が事実歴史が明白になり、真逆の解釈が可能となった。例えば、フーバー大統領回想録でルーズベルトは狂人扱いとされた。諸悪の根源は、米英支とコミンテルンやディープステートの悪だくみであることが判明した。	著書開発	ウエストファリア条約やジュネーブ条約違反の勝者の裁判が東京裁判であった。フーバー大統領の回想録や米国の極秘外交文書が開示されて、条約に違反することはかりの事実が明快になった。日本の喪失した國體と主権が回復が可能であり、それを知財宝庫にGHQ憲法や違法裁判の歴史的事実を登録すべきである。	

域 領	番号	概 念	項 目	説 明	参 考 資 料	記 事
V 令和モデル	51	世界日本学	グローバル社会の終焉に対して、国際日本学として日文研が提唱していたがアーカイブの機能も果たしえなかった。「日本第1」を旗色鮮明にして、日本の和・義・誠等の文化を世界に定着させる目的で 世界日本学 として提唱した。	各種技法の統合化をする。3回目のAIブームで終わらせず、世界で使用されている言語の相互変換の精度を1桁上げる。個別業務のモデル化とAI化で科学・技術を精力的に実現する。モデルは、全て知財バンクに登録して、世界的なレベルで利活用する。	著書 開発	各種の業務・業態をモデルベースを構築して、省力・省脳により人力を軽減する。日本の産業分類(中規模)では100モデル程があり、すべて規範モデルとなりうる。
	52	日本の國體・主権の回復デジタル・アーカイブとデジタル・ディプロマシーで令和モデル構築	外務省の無能さと宣伝下手で日本の本質が広報・定着化されていない。米国・中国の属国化に加え日本のID喪失の危機の時代である。国の政治と経済の安全保障を確立する方略にデジタル外交を実践することを方略とした。	クラウドとセキュリティを主にRASIRUEEの概念で國體・主権を回復を支援するシステム基盤となりうる。更に事実を蓄積した知財バンクを活用して、リモートで外交交渉を前提とするシステムを新たな外交手段とする。	著書 開発	データ・知識・知恵・知謀の相対を標準化して世界的な宝庫とする。そのためには、センサー、ロボット、スマホ、汎用コンピュータ、スーパーコンピュータと量子コンピュータを統合的に結合して、ブロックチェーンなどの手法で有効に統合化する。
	53	世界平和に邁進していた日本の活動は、米英支露が破壊	日米・大東亜戦争の意義・意味は、肌色改革と植民地主義の解放が深層にあった。	人種差別・奴隷制度と植民地主義の放逐を大前提としていた。・・が、ウイルソン等は、国際連盟での日本提案を無碍にされた。結果、日米戦争などの第2次世界大戦のきっかけになった。	著書 開発	覇権国家と人種解放を目指した日本帝国の相克に日本は屈した。
	54	条約無視や国際ルールを無視は悪	適正な国際法に基づき東京裁判の違法性と自らの再審判⇒靖国神社へ天皇が参拝が可能な制度にする。植民地政策を実践した国は、清算と戦後処理をすべきである。単にリーダーが頭を下げても解決はしない。誠意と価値保障である。	勝者の裁判、復讐裁判も事実とされた歴史であるが、米国の当時の関連極秘文書の開示が事実歴史が明白になり、真逆の解釈が可能となった。例えば、フーバー大統領回想録でルーズベルトは狂人扱い。諸悪の根源は、米英支露とコンテンデンやディーブステートの悪たくみである事が判明した。知財バンクやMOW(文書遺産)に登録する。さらにGHQ憲法や違法裁判を日本が実践すべきである。	著書 開発	ウェストファリア条約やジュネーブ条約違反の勝者の裁判が東京裁判であった。フーバー大統領の回想録や米国の極秘外交文章が開示され、条約に違反することばかりの事実が明伏になった。やっつと、日本の喪失した國體と主権が回復可能な時期が来た。
	55	安寧空間創製システムの構築・運用・管理・評価	産業革命とフランス革命などで科学技術や民主主義と自由経済などのはやりで「悪」がはやり過ぎて人類は、滅亡にまっしぐらな現状である。ここには、良質の変革もなく人類の末期を呈している。戦術核や戦略核はロシアの飛び地であるカーニングラードに存在する。米英仏独日の情報機関での共通認識である。青山繁晴2022/3/2	核拡散防止条約などは、噴飯ものであり、身勝手な施策でもある。兵器の量や危険度の向上が競争になっていく。戦術核の使用は時間の問題であろう。核兵器だけでなく、銃火器の廃絶を目標にすべきであり、サブマリン兵器や宇宙利用の兵器の全廃すべきである。極左、ネオナチ・ネオコンの極右なども犯罪とする。	参考 書 青山 繁晴	いい「加減にしろ」という主張である。使える小型核兵器の使用は、日本が広島・長崎の被害者である経験を根拠に抑制と停止を国策とすべきである。生物兵器のはやり病を適正に解釈すべきで、米仏中加などの諸国の責任は重い。
VI 知財システム*デジタル外交交渉	61	思考支援・集合意形成支援・特許の記述	特許であるGMA概念の説明 特許情報 特開平1998-198647(公開のみ)	各種技法の統合化。思考・意思決定・合意形成の過程を支援する情報システムとして概念化して、議論や討議の過程を参照できる方法(スクリーン)とした。討議環境は、単体と4面と9面スクリーンとした。課題の構造や機能をそれぞれに整理して眼前に展開する方法である。鳥瞰的に、さらに微細な虫眼的に、網羅的にも総括的にも表現可能な方式である。複雑な問題は、多次元、多面で構造と機能をマルチメディアで表す。	特許 DB	モデルベースの拡充で参照可能にする。GMA概念は、IBMのBSPの手法を踏襲している。解決すべき事項をまず確定する。あらゆる担当者からの問題点をだす。それを類別した領域に整理して、問題点や課題のそぎ落としをして、精練する。例えば、100程の課題を何回か繰り返して、討議で1割程度に絞り込む。その項目に対して評価をして品質的な評価問題に行きつく。
	62	悪の確定と「価値・評価体型」構築 WBSCSの実践で 人類防衛衛(國)新設	魂・心・意の探求、「善と悪」の研究をする。特に「悪」の定義は、生物・人類・言語・文化の温存を抑制・破壊する要素や事項などとする。核兵器・銃火器・麻薬・宇宙兵器・生物兵器・麻薬などは、無条件で「極悪」で人類から根絶すべき対象である。 DNAをもてあそぶ ことは、その仕組みが9割解明されてからにすべきであり、研究レベルでも悪の範疇とする。	戦争・殺傷兵器、博徒経済、麻薬、嘘、騙しは悪である。NESERA/GESERAの事実を広報すべき。哲学の復権は、人類100億人の温存に必須であり、知の体系の頂点に戻ることが大前提である。「強欲・今・私」の精神構造を薄めトリレンマを強化する社会の実現を目指す。信用貨幣と過剰投資(投機)も再評価する。即ち、「所有・我欲」と「幸福感・安心安全」の評価のレベル合わせをする。	学会 発表 論文	日本哲学の本誌の論文を調査した。その結果では「悪」の研究は少ない。また、論文や著作も少ない。「悪」の定義として、戦争・内乱・テロが絶えないのは、生き・活き・近き」の哲学・倫理感が、貧困や格差に起因している。「悪」を社会から消滅させない限りトリレンマの緩解は増大するのみ。
	63	高次な知財バンク WBSCSの知財宝庫	専門日本語教育:基礎と応用システムとして、自然言語処理機能の制度を1桁向上させて、小型携帯で相互に対話時の言語変換機能を開発する。「悪」の保有と保全を絶滅させる施策を世界共通にする。阻害要因で残る緒元に悪影響となる部分は、討議によりフィルターをかける。 無条件で「悪」を抹消 する仕組みが必要である。	常温核融合発電、高信頼度原発、人工光合成と廉価の海水・水変換システムを実現化する。加えて寝たきりや認知症の患者を最小化する。メッドベッドの予防的処置の定着化が終局的に自立・自律の増大になる。	著書 開発	原資は、DS(宗教組織・ファンド・マスコミ、軍隊・貴族)の悪業で地区作資された資源の没収と凍結で賄われる。
	64	高次先端技術開発の指向と WBSCSの実現と実践	人類や生物の生存に悪影響な現在までに放置したままのゴミを削減する。その方法に科学応用技術の応用で仕組みを作る。宇宙空間・大気圏、海水表面・海水下、更に地表・地下の有害物、特に原発の汚染再起物の半減期の半減が技術などを方法を実現する。多文化・共生の社会は、夢物語で移民政策は熟慮すべき。	各種技法の統合化と日本産業分類の100モデルを規範としてデジタル庁で産官学の相対で開発する。余分な 移民は不要 である。仮に日本の人工が6千万に減衰しても安寧は維持できることを確信できる。翻って「悪」の 悪さ加減の確定を世界共通の評価尺度 とし、評価と是正の方法をルーラ化して安寧空間創製システムとして実現する。	著書 開発	世界知財宝庫は、人類の宝庫として参照可能にする。外交は、リモートで知財宝庫を基盤としてデジタル外交を前提とする。必要な空気・エネルギー・水・食料・健康を存命の最低基準とする。JESARAを想定した社会構成にする。
修士論文・著作等	1	工 学	フェーイル・セーフ論理方式の研究,東京電機大学,工学研究科,電気工学専攻工学修士,1971/3 (S46)⇒RASISUEE⇒安心安心の本質			
	2	経営・経済	思考支援システムに関する研究 企業情報システム構築法, 青山学院大学,国際政治経済研究科,国際ビジネス専攻 修士(国際経営学),1992/3 (H4) ⇒GMAIS:Global Model Builder = 思考支援、意思決定支援、合意形成支援などのBSP手法の情報システム化			
	3	環 境	戦略的環境マネジメントシステムの研究,英国リェールズ大学大学院, 環境マネジメント学科修士(理学)with Distinction,2003/6 (H15) ⇒ GMAISの応用としてSEMSを確立した。 SEMS (Strategic Environmental Management System);知的情報バンクとしてデータ、ケース、モデル、シナリオの階層をなす知財ベースを成す。			
	4	日本語教育	規範モデルとしての経営日本語教育コースの開発と実践-GMAIS(Global Model Architecture Information system)とPIACS(Practical Intelligence Acquisition & Control System)による統合経営日本語システム-;桜美林大学,言語教育研究科 日本語教育専攻 修士(日本語教育),2013/9 (H25) ⇒PIACSは、組織活動のPDCAサイクル業務や経営の知恵を獲得して知識(モデル)として蓄積する概念である。 GMPiA =GMAIS+PIACS として汎用化の概念を研究			
	5	研究と著作	電気通信大学電子通信学 博士後期課程 電子情報学専攻 経営システム 単位取得満期退学 GMA:Global Model Architectureの研究 ⇒知識時代の情報システム論、知識時代の時代の情報管理論、白桃書房,1997年			